

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月20日(月)

事務事業		畜産振興対策事業		担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	3710	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務				
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり		根拠法令 個別計画等	家畜伝染病予防法・家畜排せつ物の管理の適正化及び促進に関する法律 深谷市畜産振興補助金交付要綱 深谷市豚熱及びアフリカ豚熱緊急対策事業費補助金交付要綱				
	小項目	2	農畜産物の販売流通体制の充実							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		畜産疾病（牛・豚）の蔓延防止を図り、畜産経営の安定を目的として牛や豚の予防注射を実施した畜産経営者に対して、深谷市酪農振興会及び深谷市養豚組合を通じて補助金を交付する。また、豚熱及びアフリカ豚熱の感染予防対策として、飼育環境の向上を図る養豚農家に対して、補助金を交付する。								
目的 ※何のために		市内畜産農家の経営の安定のため。								
対象 ※誰・何を対象に		市内畜産農家（深谷市酪農振興会、深谷市養豚組合）								
手段 ※どのように		乳牛検診や養豚の予防注射を実施した畜産農家に対し、深谷市酪農振興会及び深谷市養豚組合を通じて補助金を交付する。								
成果 ※何を求めるか		特定家畜伝染病の蔓延防止となり、畜産経営の安定化を図る。								
執行体制		■ 職員 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 市民ボランティア □ NPO等 □ その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	6	農林水産業費	1	農業費	4	畜産業費	畜産振興対策事業	1,183,887
本事業の 主な業務		・ 深谷市養豚組合へ予防注射の補助金交付					・			
		・ 深谷市酪農振興会へ乳牛法定検診の補助金交付					・			
		・ 畜産クラスター協議会に係る業務					・			
		・ 特定家畜伝染病対策に係る業務					・			
		・ 畜産振興に係る業務					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・乳牛検診(岡部地区)・養豚予防注射	・乳牛検診(川本地区)・養豚予防注射	・乳牛検診(深谷・花園地区)・養豚予防注射	乳牛検診(臨時)・養豚予防注射	乳牛検診(岡部地区)・養豚予防注射	乳牛検診(川本地区)・養豚予防注射
事業費	予算(現額)	2,165,000	1,258,000	6,004,000	2,389,250	2,120,000	7,453,000
	決算額	868,470	717,330	1,703,081	2,107,510	1,183,887	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	868,470	717,330	1,703,081	1,183,887	7,453,000
人件費	従事職員数(人)	0.70	0.83	0.92	0.80	0.92	0.92
	人件費相当試算※	5,445,300	6,459,060	7,456,600	6,508,800	7,140,962	7,480,840
総事業費試算		6,313,770	7,176,390	9,159,681	8,616,310	8,324,849	14,933,840

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	酪農家・養豚農家数	目標値	戸						
		実績値		57	58	56	53	52	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度により農家数が変わるため、目標値は設定しない/定期報告による						
	実績値の算出式								
活動指標 2	補助金交付額	目標値	千円						
		実績値		757	623	766	256	534	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度により接種頭数が変わるため、目標値は設定しない						
	実績値の算出式								
成果指標 1	乳牛検診・養豚予防注射接種頭数	目標値	頭						
		実績値		17948	16559	10661	7920	9327	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度により接種頭数が変わるため、目標値は設定しない / 補助事業実績報告書による						
	実績値の算出式								
成果指標 2	乳牛検診・養豚予防接種実施率	目標値	%						
		実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度により接種頭数が変わるため、目標値は設定しない / 補助事業実績報告書による						
	実績値の算出式								
成果指標 3	乳牛・豚の伝染病が蔓延した件数	目標値	件	0	0	1	0	0	0
		実績値		0	0	0	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		病気が発生しないことを目標とするため、0とした。						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	深谷市畜産振興補助金交付要綱に基づき、深谷市酪農振興会及び深谷市養豚組合に牛や豚の予防注射に係る経費の一部を補助金として交付した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	乳牛検診や養豚の予防注射を予定通り実施したことで、特定家畜伝染病の発生はなかった。
			評価者 特産係長 荒木 守

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	深谷市酪農振興会及び深谷市養豚組合との連携を図ることで、乳牛検診や養豚の予防注射を計画的に進めることができた他、疾病防止に係る注意喚起を広く周知することができ、特定家畜伝染病の発生を未然に防ぐことができた。
			評価者 特産係長 荒木 守

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	豚熱及びアフリカ豚熱対策のため、養豚農家へ「防鳥ネット等設置補助金」を交付する。
達成状況及び その効果	畜産関係機関や養豚農家等の意見を聞き、深谷市豚熱及びアフリカ豚熱緊急対策事業費補助金交付要綱の見直しを行った上で、補助金を交付し、対策の強化を図った。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	畜産振興対策事業	担当課	農業振興課	担当係	特産係	管理番号	3710
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>畜産経営の安定を図るためには、畜産疾病の発生防止は必要不可欠である。そのためには、日頃から飼養衛生管理基準等の注意喚起を行うとともに、乳牛検診や養豚への予防注射を団体と連携しながら計画通りに実施・継続していくことが必要である。</p>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 農業振興課長 三ツ橋 正記					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

